

その 1

## 自民党茶議連、茶業振興へ農林水産省に要請 ～将来にわたり希望を持てる経営の継承に向けた 10 項目～

自民党の茶業振興議員連盟（会長・谷垣禎一、副会長・塩谷立他、幹事長・上川陽子、幹事・牧野京夫他）は 1 2 月 5 日、茶の需要拡大や長引く価格低迷に苦しむ農家支援を柱とする「茶業振興についての取組」を農林水産省に要請した。

茶価の改善に向けた対策の検討や学校給食における飲用促進を昨年に引続き要請するほか、新たに大学における茶学部の創設や新事業の創出に向けた補助金の確保等を盛り込んだ。自民党茶議連は今後各省庁に対する働きかけを進める。

- ① 産地ごとに需給・流通状況・価格の把握に努めるとともに対策を検討すること。
- ② 生活様式の変化を踏まえ、水出し冷茶やティーバッグ茶等の需要拡大を講じること。  
また、職場での「茶の接遇」の推進やおいしい淹れ方の普及及び茶文化振興に向けた国民運動展開への支援に努めること。
- ③ 子供の頃から緑茶に親しむ習慣を育むよう学校給食における飲用促進に取り組むこと。また、お茶に関する高等教育機関として大学における茶学部等の創設や茶教育の充実を図ること。
- ④ 機能性表示制度等の積極的な活用を図ること。
- ⑤ 茶の輸出促進に向け、外国政府・国際機関への働きかけや海外の残留農薬基準のクリア及び輸出国の嗜好調査等の施策を強化すること。
- ⑥ 改植・未収益期間の支援対策に加え、条件不利茶園の整理対策を創設すること。
- ⑦ 茶農家の経営安定と将来にわたる茶生産の維持に向けた収入保険制度の検討を進めること。
- ⑧ 火山活動の活発化に伴う降灰被害対策を講じること。
- ⑨ 茶商が国内外のニーズに対応した新事業の創出に向けた補助金を確保すること。
- ⑩ 輸出環境の改善に向けて情報収集・発信を行うこと。

回覧

組合長	常勤役員	参事	関係部課長	係